

想定した品目

きんぎょそう

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
きんぎょそう	人 2	きんぎょそう a 10 経営耕地面積 水田 畑 100 a	1. APハウス、11～3月出荷加温栽培。 2. 自家育苗苗利用。 3. ハウス裏作あり、減価償却負担率60% 4. 京阪神市場へ出荷
経営目標		1 農業総収入 4,620 千円 2 農業経営費 2,794 千円 3 農業所得 1,826 千円	4 1日当たり農業所得 12,772 円 5 1人当たり年間労働時間 572 時間

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格 千円	耐用年数 年	年間償却額 千円
建物・施設	作業場・倉庫	1	鉄骨・100m ²	1	4,752	24	198
	連棟標準型APハウス	1	APハウス連棟・1,000m ²	1	5,732	8	358
	計				10,484		556
農機具	トラクター	1	15ps	1	1,351	7	97
	管理機	1	6.2ps	1	195	7	14
	動力噴霧機	1	3.1ps	1	139	7	10
	温風暖房機	1	75,000kcal	1	634	7	45
	軽トラック	1	660cc	1	870	4	109
	養液土耕システム	1	コンピュータ制御・電磁弁	1	1,270	7	91
	冷蔵庫	1	3坪	1	1,096	7	54
	頭上灌水装置	1		1	760	7	78
計				6,314		498	

3. 技術体系

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 播種準備		8月上		2	7	14	・セルトレイ(288穴) ・育苗培土	
播種		8月中		2	14	28	種子40,000粒	
灌水		8月中～9月上		1	7	7		
病虫害		〃		1	1	1		ヨトウ類
(本圃) 定植準備	耕耘 土壌消毒 元肥施用	8月上中	耕耘機	2	20	40	点滴チューブ 1500m 支柱640本	・畦幅70cm ・窒素・リン酸・加里 各12kg程度
	ネット張り	9月上		2	12	24	・ネット(12cm×7目) 750m×2	・ネットは早めに張り、生育に応じて上げる
定植		9月上中		4	18	72	苗 24,000本	・10cm×6目のネットに4条植え。 ・活着まで寒冷紗等で日覆いをする。
摘心		9月中下		2	16	32		・活着後、4～5節で、3節残して摘心。
灌水施肥	養液土耕栽培	9月～4月		1	8	8	養液土耕システム	・生育に応じた肥培管理 ・窒素・リン酸・加里各5kg程度
温度管理	ビニール被覆	8月下		3	8	24	1000㎡	
温度管理	内張カーテン張り	11月上		2	4	8	内張カーテン 1000㎡	

温度管理・換気	保温管理	12月中～3月中	暖房機	1	25	25	重油 2,500L	・昼夜の温度格差が大きいと花とびの原因となるので換気に気をつける。 ・最低温度8℃
除草		10月中～4月		2	15	30		
整枝		10月上・2月下		2	48	96		
収穫・出荷		11月中～4月下	軽トラック	3	230	690		
病害虫防除		9月上～4月下	動力噴霧機	1	13	13		
後かたづけ		5月上		2	16	32		
計						1,144		

